

「人間の復興」へ総力

党加速化本部 心のケア、風評被害対策も

11日で東日本大震災から丸7年を迎えることを受

3.11
7年
大震災

け、公明党復興加速化本部(本部長＝井上義久幹事長)は7日、衆院第2議員会館で復興の現状と課題について政府からヒアリングを行った。冒頭、井上幹事長は、いまだ7万3000人が避難生活を送っている状況に触れ、「引き続き復興を加速



党復興加速化本部であいさつする井上幹事長(奥側左から3人目)＝7日、衆院第2議員会館

課題としては、被災者の心身の

は、今春までに9割が完了する見込みだと説明。東京電力福島第1原発の汚染水凍土壁によって一日の汚染水の発生量を約490トから約110トにまで減らしたと成果を紹介した。

ケアや公共交通の整備、訪日客を積極的に取り込んだ観光振興などを列挙。原発の風評被害を払拭するた

め、放射線に関する正しい知識の情報発信も強化するとした。出席議員からは、「農林

水産業の復興に向け、販売戦略の支援を強めるべき」などの意見が出た。